

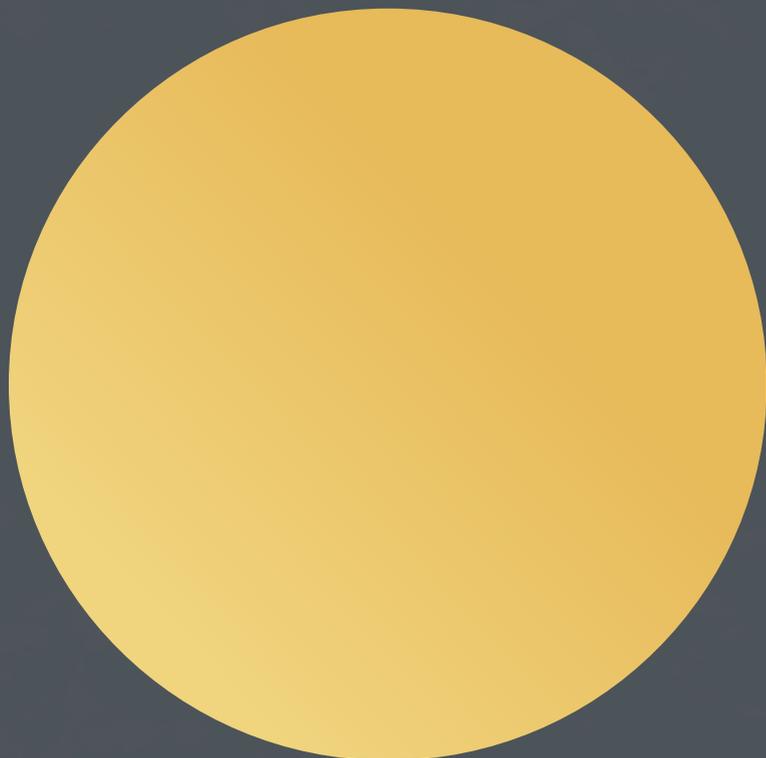
セルリアンタワー能楽堂

萬齋

イン セルリアンタワー 22

二〇二三年 十二月十六日 金

午後七時開演(午後六時三十分開場)



解説

野村 萬齋

小舞 八島

後

野村 裕基

小舞 海人

野村 萬齋

狂言 仏師

石田 幸雄

狂言 吹取

野村 萬齋

CERULEAN TOWER

能楽堂

NOH THEATRE

◎解説

◎小舞「八島後」

◎小舞「海人」

◎狂言「仏師」

野村 萬齋

野村 裕基

野村 萬齋

地謡 深田 博 治
高野 和 憲
月崎 晴 夫
野村 太 一郎

すっぱ 石田 幸 雄

田舎者 飯田 豪

後見 月崎 晴 夫

ある田舎者がお堂を建立し、本尊の仏像を用意しようと都へ仏師を探しにやってくる。往来の中を大声で探していると、都のすっぱ(いたずら者)が自分こそ真仏師(正統派の仏師)だと言って近寄ってくる。すっぱは口から出任せで田舎者を信用させ、仏像を翌日までに作る約束をする。翌日田舎者が約束の場所へ行くと…

田舎者の注文に慌てるすっぱの姿が笑いを誘います。中世の人間のおおらかなやりとりをお楽しみ下さい。

— 休憩15分 —

◎狂言「吹取」

何某 野村 萬齋

男 深田 博 治

女 高野 和 憲

後見 野村 裕 基

清水の観世音から月夜に五条の橋で笛を吹けば妻を授けると告げられた男は、笛が吹けないので、知人に代わりに吹いてほしいと頼む。知人と共に五条の橋に出かけ、笛を吹いてもらおうとお告げのとおり、女が現れるのだが…。

月夜に笛の音。叙情的な趣が、最後はなんとも狂言らしい展開に! 曲中で実際に演者が笛を吹く珍しい演目です。

〈終演予定 午後8時40分頃〉



■野村 萬齋 (のむら まんざい)

1966年生。野村万作の長男。祖父故6世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外での狂言公演に参加する一方、映画、ドラマに出演するなど幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊國屋演劇賞、朝日舞台芸術賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞優秀作品賞、2021年観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞大賞を受賞。東京芸術大学客員教授。石川県立音楽堂邦楽監督。全国公立文化施設協会会長。

■石田 幸雄 (いしだ ゆきお)

1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。「三番叟」「釣狐」「花子」も披露。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ「万作の会」の重鎮。また、新しい試みの舞台にも意欲的な発表が多い。普及公演での的確な解説にも定評がある。「雙ノ会」で芸術祭大賞を、個人で観世寿夫記念法政大学能楽賞を受賞。

■深田 博治 (ふかた ひろはる)

1967年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。重要無形文化財総合指定保持者。万作一門の研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに『奈須与市語』『三番叟』『釣狐』『金剛』等を抜き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンターをはじめ、全国各地での狂言講座、ワークショップで講師を勤め、狂言の普及に力を注いでいる。出身地・大分で「狂言やっとな会」を主宰している。

■高野 和憲 (たかの かずのり)

1972年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。重要無形文化財総合指定保持者。万作一門の若手研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに『奈須与市語』『三番叟』『釣狐』『金剛』等を抜き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンター、新国立劇場研修所をはじめ、全国各地の狂言講座、ワークショップで講師を勤め、狂言の普及に力を注いでいる。

■月崎 晴夫 (つきざき はるお)

1964年生。野村万作に師事。能楽協会会員。万作一門の研鑽会「狂言ざん座」同人。『奈須与市語』『三番叟』を抜くなど狂言の舞台に出演する一方、舞台「子午線の祀り」等にも出演。「万作の会」の演者の一人として活躍している。また、朝日カルチャーセンターをはじめ、全国各地のワークショップで講師を勤めるなど、狂言の普及に力を注いでいる。

■野村 太一郎 (のむら たいちろう)

1990年生。故五世野村万之丞の長男。2017年より野村萬齋に師事。能楽協会会員。3歳の時に「靉猿」で初舞台。既に「三番叟」「奈須与市語」「釣狐」を抜く。能楽ユニット「MUGEN∞」同人。2020年新作能「白雪姫」を演出、主演。青山学院大学、桜美林大学非常勤講師。

■飯田 豪 (いいた ぎょう)

1989年生。野村万作に師事。日本大学芸術学部卒業。能楽協会会員。万作一門の研鑽会「狂言このあたり乃会」同人。すでに『奈須与市語』『三番叟』を抜く。

■野村 裕基 (のむら ゆうき)

1999年生。野村萬齋の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶応義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。3歳の時に「靉猿」で初舞台後、子方として国内外で多数の舞台に出演。修業を続け、『三番叟』『奈須与市語』を抜き、「万作の会」の若手狂言師の一人として舞台を勤めている。

2022年

12月16日(金)

午後7時00分開演
(午後6時30分開場)

◎前売開始

MY Bunkamura 先行販売：2022年9月15日(木) 午前10時00分より

一般販売：2022年9月16日(金) 午前10時00分より

※Bunkamuraでの一般発売日(9/16(金))は、Bunkamuraチケットセンター電話およびオンラインチケットMY Bunkamura(PC・スマートフォン)での受付となります。チケットカウンター(店頭)販売はございません。

◎料金：S席(正面)12,000円 A席(脇正面)10,000円
(税込) B席(中正面)8,000円 学生席(座敷・自由)4,000円

※公演中止、または主催者がやむを得ないと判断する場合以外のチケットの払い戻しはいたしません。
チケットご購入の際には、ご自身の体調や環境をふまえて判断くださいますようお願いいたします。
※学生席は能楽堂のみにて取り扱います。購入の際には学生証の提示をお願いいたします。

◎チケット申し込み：

▶ Bunkamura チケットセンター

03-3477-9999 (10:00-17:00)

▶ オンラインチケットMY Bunkamura

https://my.bunkamura.co.jp [PC・スマホ対応/座席選択可]

▶ Bunkamura チケットカウンター

Bunkamura1F 正面入口右手 (10:00-18:00)

▶ 東急シアターオーブ チケットカウンター

渋谷ヒカリエ2F (11:00-18:00)

※営業時間は変更になる可能性があります。何卒ご了承下さい。

※都合により公演の一部(出演者・曲目等)を変更する場合がございます。ご了承下さい。

協賛：NOMURA

「渋谷駅」国道246号線沿いにそびえる超高層ビル「セルリアンタワー」の地下2階。

